

↑しらべもの*1

Quotes

”つまらない実装やアイデアのほとんどは 先行研究や事例への無知によって生まれている”
”人間性を捧げろ！”

まとめかた

やってみたかったこと

いつかやってみようと思って、高速で論文がバリバリ読める落合先生のフォーマットがいい感じだったのでメモ*2 をブックマークしてあったのだが、いざやってみようとする、自分の目的にはすこしまッチしないような気がした。

ここで紹介されているのは、以下のような構成。まずは実験論文用：

1. どんなもの？
2. 先行研究と比べてどこがすごい？
3. 技術や手法のキモはどこ？
4. どうやって有効だと検証した？
5. 議論はある？
6. 次に読むべき論文は？

理論研究だったら：

1. どんなもの？
2. 批判されている理論はなに？
3. どういう文脈・理路をたどっている？
4. 対象となるスコープにおいて網羅性と整合性はある？
5. 議論はある？
6. 次に読むべき論文は？

しかし、私は研究者ではなく、研究者とはことなる目的で論文を読むことが多いようなので、ちがった読み方をして、その結果、ちがったまとめ方をするようになるように思われる。

どんな読み方をして、どうまとめる？

では、自分は、どういう目的で、どのように論文を読んでいるだろう。

私が論文を読むのは、その分野の最先端の研究に関するものではなく、すでに確立された技術について理解したい場合がほとんどだ。最先端の研究というわけではぜんぜんないが、(とくに日本語の)教科書に載るほど一般的ではないような話題。そのため、比較的古くて枯れている論文を読むことになる。また、内容について

*1 <https://uhideyuki.sakura.ne.jp/studs/index.cgi/ja/FrontPage#p6>

*2 <http://lafrenze.hatenablog.com/entry/2015/08/04/120205>

て批判的に読むことはほとんどなく、知りたいことが書かれているかどうかに着目しながら読むことになる。
というわけで、ひとまず「まとめ」の構成を決めるとしたら、以下のようなになるかなあ：

1. なにについて書かれた論文か？
2. なにが知りたくてこれを読んだ？
3. わかったこと
4. わからなかったこと
5. 参考文献のなかで、有益そうなもの

まず、こんな感じでやってみよう。